

沖縄労働局発表  
 令和3年8月31日(火)

厚生労働省 沖縄労働局 職業安定部  
 担当 部長 大山 徹  
 職業安定課長 知念 照二  
 電話 098-868-1655

## 「労働市場の動き」令和3年7月

沖縄の雇用情勢をみると、求人に対して求職の超過が続いており、厳しい状況にある。新型コロナウイルス感染症が雇用に与える影響に注意する必要がある。

### (就業地別)

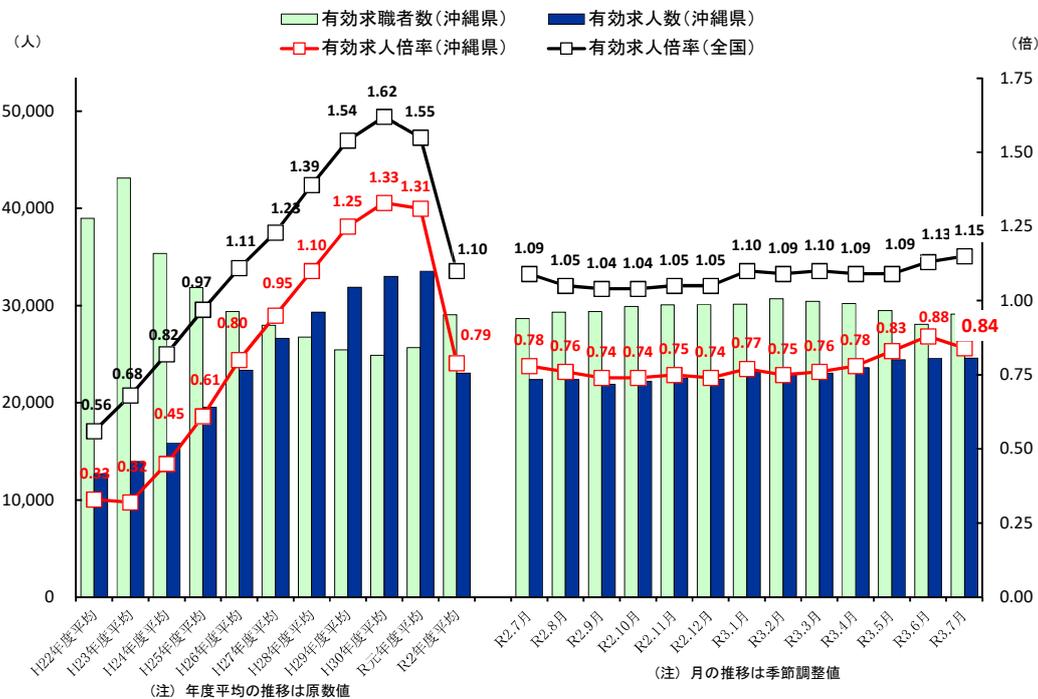
- 有効求人倍率(季節調整値)は0.84倍で、前月より0.04ポイント低下
- 新規求人倍率(季節調整値)は1.30倍で、前月より0.33ポイント低下
- 正社員有効求人倍率(原数値)は0.50倍で、前年同月より0.06ポイント上昇

【参考】令和3年6月の正社員有効求人倍率(原数値)は、前年同月より0.05P上昇

### (受理地別)

- 有効求人倍率(季節調整値)は0.76倍で、前月より0.04ポイント低下
- 新規求人倍率(季節調整値)は1.16倍で、前月より0.34ポイント低下
- 正社員有効求人倍率(原数値)は0.45倍で、前年同月より0.06ポイント上昇

### 求人、求職及び有効求人倍率の推移



沖縄県の完全失業率(季節調整値)は4.5%で前月より0.8ポイント悪化  
 沖縄県の完全失業率(原数値)は4.3%で前年同月より1.1ポイント悪化

【参考】令和3年6月は、完全失業率(原数値)4.0%で前年同月より0.4P悪化であった。

(注1)

- 求人倍率とは、求人数を求職者数で割った数値で求職者1人あたり何件の求人があるかを表す。
- 求人に関する指標のうち、「就業地別」とは、全国のハローワークで受理した求人から沖縄県内を就業地とする求人を抜き出し算定した求人数や求人倍率のこと。また、「受理地別」とは、沖縄県内のハローワークで受理した求人を元に算定した求人数や求人倍率をいうが、これには沖縄県外が就業地である求人も含まれる。本発表資料では、「受理地別」の表示の無い求人数・求人倍率は、就業地別の数値で表示している。

# 1. 新規求人倍率・有効求人倍率の動き(就業地別)

(1) 新規求人倍率(季節調整値)は1.30倍で、前月より0.33ポイント低下。

- ① 新規求人数(季節調整値)は8,539人で、前月比2.3%増(192人増)となった。
- ② 新規求職申込件数(季節調整値)は6,585件で、前月比28.3%増(1,454件増)となった。

(2) 有効求人倍率(季節調整値)は0.84倍で、前月より0.04ポイント低下。

- ① 月間有効求人数(季節調整値)は24,600人で、前月比0.1%増(15人増)となった。
- ② 月間有効求職者数(季節調整値)は29,120人で、前月比3.7%増(1,039人増)となった。
- ③ 正社員の有効求人倍率(原数値)は0.50倍と前年同月より0.06ポイント上昇(前々年同月比0.18ポイント低下)となった。

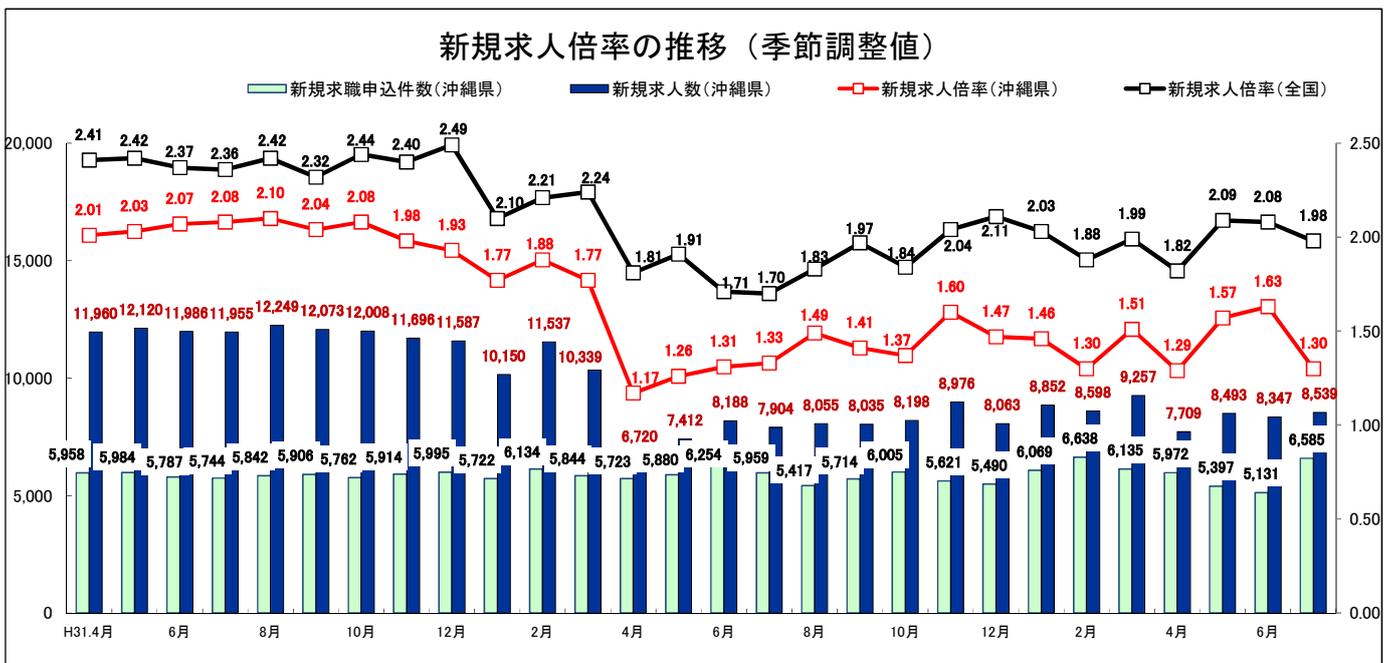
※ 求人倍率(受理地別)

(1) 新規求人倍率(季節調整値)は1.16倍で、前月より0.34ポイント低下。

- ① 新規求人数(季節調整値)は7,631人で、前月比1.1%減(86人減)となった。
- ② 新規求職申込件数(季節調整値)は6,585件で、前月比28.3%増(1,454件増)となった。(再掲)

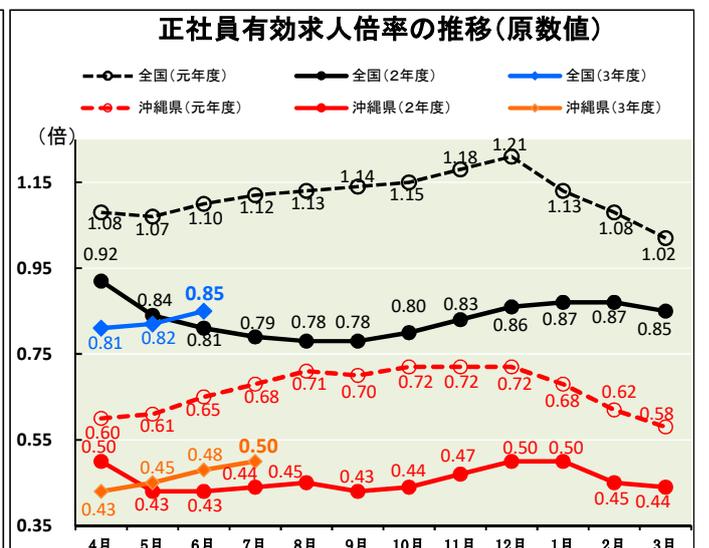
(2) 有効求人倍率(季節調整値)は0.76倍で、前月より0.04ポイント低下。

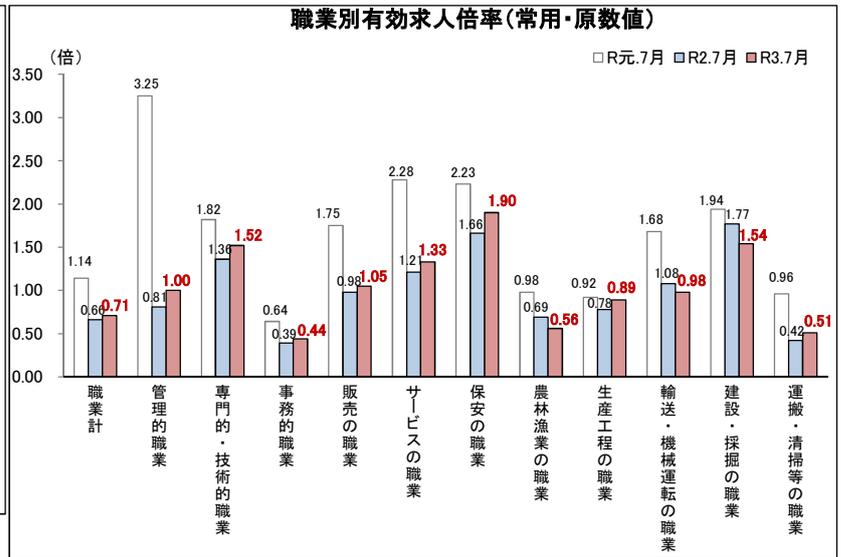
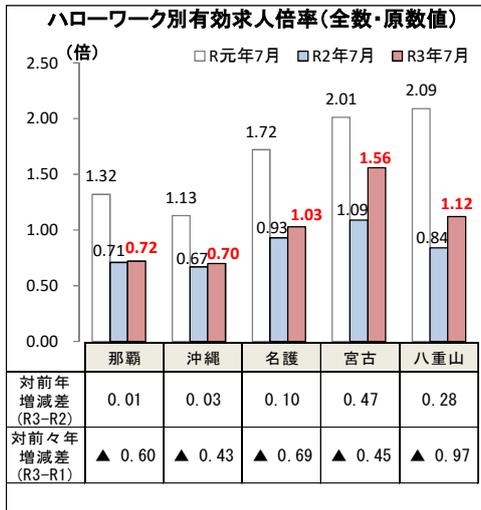
- ① 月間有効求人数(季節調整値)は22,231人で、前月比0.4%減(94人減)となった。
- ② 月間有効求職者数(季節調整値)は29,120人で、前月比3.7%増(1,039人増)となった。(再掲)
- ③ 正社員の有効求人倍率(原数値)は0.45倍と前年同月より0.06ポイント上昇となった。



有効・新規・正社員求人倍率  
(新規学卒を除き、パートタイムを含む)  
(倍)

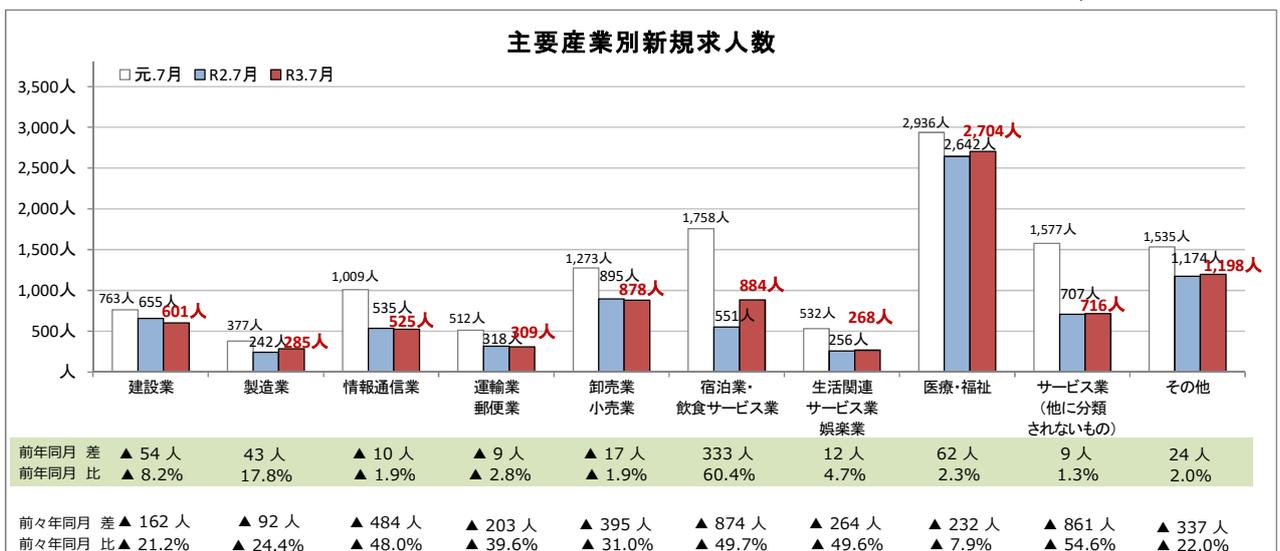
	有効求人倍率 (季節調整値)		新規求人倍率 (季節調整値)		正社員有効求人倍率 (原数値)	
	沖縄県	全国	沖縄県	全国	沖縄県	全国
R元年7月	1.40	1.60	2.08	2.36	0.68	1.12
R2年7月	0.78	1.09	1.33	1.70	0.44	0.79
R3年6月	0.88	1.13	1.63	2.08	0.48	0.85
<b>R3年7月</b>	<b>0.84</b>	<b>1.15</b>	<b>1.30</b>	<b>1.98</b>	<b>0.50</b>	<b>0.88</b>





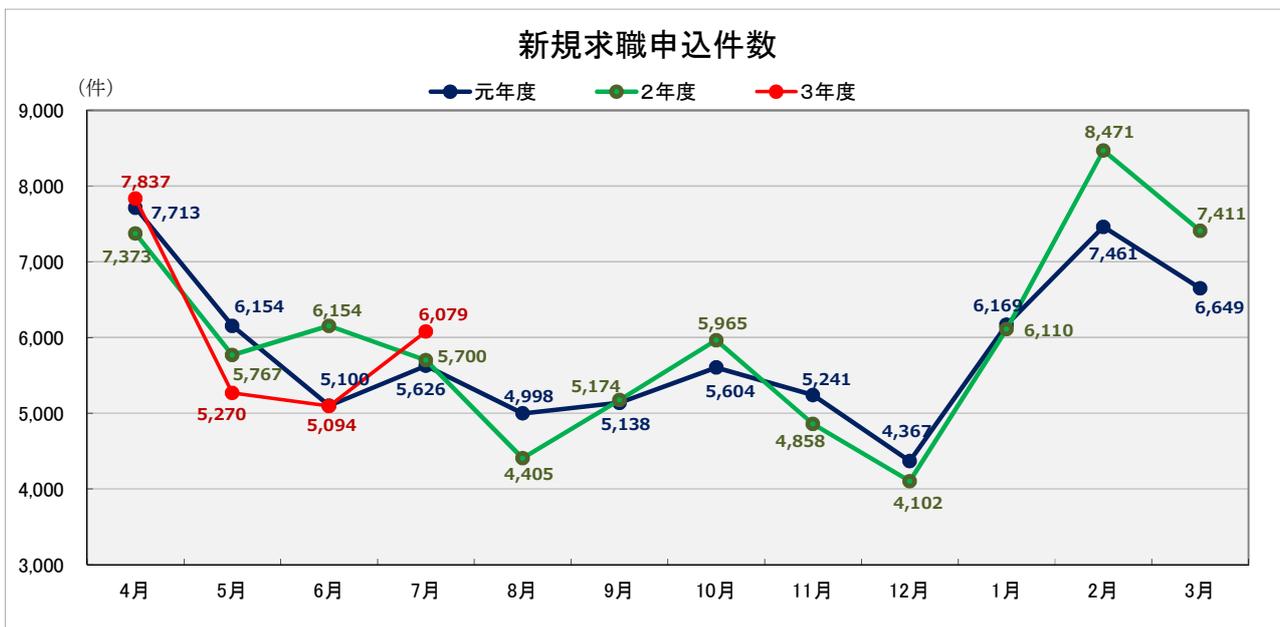
## 2. 求人の動き(就業地別)

- 県内新規求人数(原数値)は8,368人で、前年同月比4.9%増(393人増)と4か月連続の増加となった。(令和3年6月は、前年同月比2.5%増(206人増))。うち常用(雇用期間が4か月以上)は7,579人で7.6%増(537人増)となった。これを主要産業別に前年同月比で見ると、増加は、宿泊業・飲食サービス業の60.4%増、製造業の17.8%増、生活関連サービス業・娯楽業の4.7%増、一方、減少は、建設業の8.2%減、運輸業・郵便業の2.8%減、卸売業・小売業の1.9%減となった。
- 月間有効求人数(原数値)は22,605人で、前年同月比8.1%増(1,692人増)と3か月連続の増加となった。そのうち常用(雇用期間が4か月以上)は20,533人で、前年同月比8.9%増(1,679人増)となった。
- 正社員について、正社員新規求人数は3,296人で、前年同月比11.4%増(337人増)と4か月連続の増加となった(なお、前々年同月(令和元年7月)比では17.4%減(694人減)である。)。県内新規求人数に占める正社員求人の割合は39.4%で前年同月比2.3ポイント上回った。正社員有効求人数は8,976人で、前年同月比9.5%増(778人増)と3か月連続の増加である(前々年同月比は20.3%減(2,289人減)である。)
- パートタイム求人について、新規求人数(原数値)は2,818人で、前年同月比5.0%減(147人減)となり、月間有効求人数は7,236人で、前年同月比0.7%増(51人増)となった。



### 3. 求職の動き

- (1) 新規求職申込件数(原数値)は6,079件で、前年同月比6.6%増(379件増)と3か月ぶりの増加となった。  
 (令和2年6月は、前年同月比17.2%減(1,060件減))。うち常用(雇用期間が4か月以上)は6,011件で、前年同月比6.0%増(341件増)と3か月ぶりの増加となった。  
 また、臨時・季節は68件で、前年同月比126.7%増(38件増)となった。
- (2) 月間有効求職者数(原数値)は29,274人で前年同月比1.7%増(489人増)と31か月連続の増加となった。  
 そのうち常用(雇用期間が4か月以上)は29,076人で、前年同月比1.6%増(448人増)と30か月連続の増加となった。また、臨時・季節を希望する求職者は198人で、前年同月比26.1%増(41人増)となった。
- (3) 雇用保険受給者実人員は7,528人で、前年同月比0.4%増(30人増)となった。



新規求職者申込件数(常用)の状況について

(単位: 件, %)

	新規求職申込件数 (常用) 合計	前年同月比	就業・不就業の状態別									
			在職者		離職者		うち事業主都合		うち自己都合		無業者	
			前年同月比		前年同月比		前年同月比		前年同月比		前年同月比	
令和2年7月	5,670	1.1	1,228	▲ 2.5	3,995	6.0	1,432	47.3	2,347	▲ 9.9	447	▲ 23.3
令和3年6月	5,060	▲ 17.3	1,254	8.1	3,382	▲ 23.5	913	▲ 43.0	2,280	▲ 12.9	424	▲ 20.7
令和3年7月	6,011	6.0	1,820	48.2	3,660	▲ 8.4	1,033	▲ 27.9	2,308	▲ 1.7	531	18.8

新規学卒を除き、パートを含む。(原数値)

#### 4. 就職の動き

- (1) 就職件数は1,340件で、前年同月比11.2%減(169件減)と2か月連続の減少となった。
- (2) 県内就職は1,251件(構成比93.4%)で、前年同月比11.9%減(169件減)と2か月連続の減少となった。
- (3) 県外就職は89件(構成比6.6%)で、前年同月と同水準となった。

【参考】ハローワークにおけるマッチング結果(令和3年7月末)

	沖縄労働局全数		各ハローワークの実績(月間)				
	累計(4月~7月)	実績(月間)	那覇	沖縄	名護	宮古	八重山
就職件数(常用)	6,082	1,248	554	389	124	118	63
充足件数(常用)	5,896	1,201	559	363	108	117	54
雇用保険受給者の早期再就職件数(6月分)	2,251	820	386	296	87	32	19

(注2)

1. 雇用保険受給者の早期再就職件数については、集計が対象月の2か月後となる。例えば6月分の実績は9月末に発表となる。
2. 就職件数…ハローワークの紹介による就職件数。
3. 充足件数…ハローワークで受理した求人の充足件数。
4. 雇用保険受給者の早期再就職件数…雇用保険受給者のうち、給付残日を3分の2以上残して再就職した者の数。
5. 早期再就職件数の沖縄労働局全数には、船員保険を含むため各ハローワークの合計と一致しない場合がある。

#### 【用語の説明】

1. 常用とは、雇用契約において雇用期間の定めがないか、又は4か月以上の雇用期間が定められているもの(季節労働を除く。)をいう。
2. 臨時・季節について、臨時とは、雇用契約において1ヶ月以上4ヶ月未満の雇用期間が定められているものをいい、季節とは、季節的労働需要に対して就労するもの、又は季節的な余暇を利用して一定の期間(4ヶ月未満、4ヶ月以上の別を問わない。)を定めて就労するものをいう。